

七月八日 教授富本憲吉は依願免本官となる。

同月二十七日 上野直昭は宮内省より教員適格審査会委員を委嘱される。

同月三十一日 嘱託飯田喜代鏡、同兼子秀賢、同後藤年彦は講師を嘱託される。

八月三日 上野直昭は八月六日より二十五日まで、西本順、西田

正秋は七月二十日より八月八日まで、小林義郎は八月四日より十三日まで、寺田春弑は八月六日より十七日まで、脇本栄之

軒、小池岩太郎は八月八日より十九日まで岐阜県高山市へ出張を命ぜられる。

同月 上野直昭は八月二十八日より九月六日まで、小林義郎は八月二十三日より九月一日まで、日下喜一郎は八月十三日より二十

二日まで岐阜県高山市へ出張を命ぜられる。

同月十日 上野直昭は教育刷新委員会委員に任命される。

同月二十八日 上野直昭は帝国学士院会員に任命される。

十月十五日 高田正二郎（昭和十三年凶案部卒）は凶案部講師を嘱託される。

十一月十九日 入谷昇は生徒課勤務を解かれ、彫刻科勤務を命ぜられる。

十二月二十四日 講師小場恒吉、新規矩男は教授に任命される。

同月三十一日 講師沢口悟一、同槻尾宗一は依願解嘱となる。吉田五十八建築事務所員中村登一（昭和十三年建築科卒）は建築

科講師を嘱託される。

本年 関秀光は師範科の色彩学特別講義を八日間依嘱される。

### ③ 卒業式

昭和二十一年四月二十七日、第五十六回卒業証書授与式が行われた。卒業生の姓名は次のとおりである。

#### 日本画科

豊島綱明 中村健一郎 後藤俊太郎

沼井一 牛玖健治 菊田明

大塚堅二郎 前田鉄勝 志賀修一

田中得二 小林孝次 工芸科凶案部

吉江新二 五味秀夫 吉田五郎

荒瀬乙彦 志村直信 田中俊弘

#### 油画科

磯口文夫 広瀬功 建築科 石川譲一

稲田九作 鈴木幾雄 西垣影地

廖徳政 彫刻科塑造部 鳥居塚誠一

大堀俊次 小谷謙 吉川栄一郎

岡本次郎 今宏 長井皇道

荻原重夫 彫刻科木彫部 遠藤雄二

武部次郎 高橋剛

### ④ 昭和二十一年度入学者

#### 日本画科予科

二十一年五月一日入学 出身府県

同 伊藤藤誠二 東京

同 西川幡子 東京

同 渡辺明節 福島

同 和田新治 三重

同 金子美代子 北海道